

## 帯広まちなか歩行者天国

～市民がつくり・市民が楽しみ・市民が支えるオビヒロホコテン～

### ①社会資本の概要

北海道十勝の中心都市である帯広市は、豊かな自然環境と快適な都市機能が共生する「田園都市」です。その中心市街地には、JR帯広駅やバスターミナルといった交通拠点、百貨店をはじめ各種専門店や飲食店が集積した商店街、公共施設、事業所、官公庁など様々な都市機能が集積しています。特に平原通（道道26号）とアーケードのある広小路（市道）が交差する通りは街の中心の象徴的なエリアです。

実行委員会では、この一帯約420mの道路空間を活用し、6月から9月までの毎週日曜日に歩行者天国（オビヒロホコテン）を開催しています。

### ③活動の成果や波及効果等

現在、オビヒロホコテンは、中心市街地で夏の間毎週行われるイベントとして市民の皆さんに広く親しまれています。

シーズン合計のべ200以上の参加グループ、のべ約400名の運営ボランティアが参加し、10万人以上が来場するようになりました。

開催日の歩行者通行量は開催以前に比べて1.5倍から3倍にまで回復し、近隣店舗の売上増など地域の経済効果にも寄与しています。また、これまでまちなかを訪れることの少なかった若い世代もこのイベントをきっかけに足を運ぶことで、中心市街地における賑わいの創出と地域活性化に寄与しています。

### ④活動団体

#### ◆所在地

北海道帯広市西1条南8丁目20

#### ◆活動主体及び連絡先

帯広まちなか歩行者天国実行委員会

(0155-23-4510)

#### ◆HP <https://www.hokoten.net/>



### ②取組の背景、取組概要と創意・工夫

帯広市では、市街地が拡大した一方、中心市街地は空洞化・衰退化が急速に進んできました。

こうした状況に危機感を持った市民有志が、中心市街地に賑わいを取り戻そうと「帯広まちなか歩行者天国実行委員会」を設立し平成18年にオビヒロホコテンがスタートしました。

開催から14年目の現在でもボランティア主体で運営しており、低予算での継続的な活動を可能にしています。

また、イベントに参加するグループを年齢・立場を問わず市民から応募することで多様なコンテンツが集まり、世代を問わず楽しめます。

さらに、団体や学校を除き、個店での飲食出店を行わないことで、来場者が周辺飲食店へ回遊することを狙っています。



市民から集まる多様なコンテンツ



毎年恒例のYOSAKOIソーラン祭り



アーケードを活用したジャズ演奏会